

コース概要

整形外科専攻コース

【プログラムの目的と特色】

2年間の初期研修を終了した医師で3年目以降整形外科を専攻する者を対象とする。この後期研修の3年間で一般的な整形外科医としての知識と技術を身につけて、その2年後には日本整形外科学会認定専門医の資格を取得することを目標とする。また後期研修を修了して日本整形外科学会認定専門医を取得した後も日本整形外科学会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本整形外科学会認定リハビリテーション指導医のほかサブスペシャリティーを目指すためにそれぞれの希望に応じて指導を行う。さらに当院整形外科の特色でもあるスポーツ医科学の研修と足や膝関節の専門的な知識の習熟も目指す。スポーツ医科学を志す医師の基礎と応用を経験する。



【研修内容と到達目標】

後期1年時 臨床基礎の習得、研修会への参加

後期2年時 臨床実地、骨折手術手技の取得、学会への発表、論文作成

後期3年時 臨床応用の習得、慢性疾患手術手技の取得、初期研修医への指導

【研修概要】

整形外科基礎科学、外傷性疾患(スポーツ障害を含む)、小児整形外科疾患、代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む)、骨・軟部腫瘍、リウマチ性疾患・感染症、脊椎・脊髄疾患、神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む)、肩甲骨・肩・肘関節疾患、手関節・手疾患(外傷を含む)、骨盤・股関節疾患、骨盤・股関節疾患、リハビリテーション(理学療法、義肢装具を含む)、医療理論・医療安全・医療制度等の14項目の全項目を3年間で経験し、その知識と手技を身につけることを目標とする。整形外科全般について一定のレベルになるまでは総合的な整形外科研修を行うのが一般的で、骨折・脱臼などの外傷に関しては、整形外科の基本であり、この期間に積極的に症例を治療するようにして、外傷治療を習得する。また整形外科診療の中でいくつかのサブスペシャリティーがあり、脊椎・関節・スポーツ疾患・足の外科・手の外科・骨軟部腫瘍・関節リウマチ・外傷など多岐にわたる。整形外科研修の間にこれらの症例を経験し、自分で治療を完結できることを目標とする。学術集会への参加のみならず学術成果の発表とその論文作成も行う。これらは国内学会に限るものではなく、国際学会への参加も目標となり得る。

【研修到達目標】

I. 以下の項目について、指導を受け適切にできる。

・整形外科外来および入院患者診察

四肢、脊柱の骨格、関節、神経、筋肉・腱といった運動器解剖を熟知した上で小児から老人に至るまでの幅広い運動器疾患の診察とその補助を行う。

外傷性、先天性、炎症性、加齢変性、腫瘍性、麻痺性、代謝性などの整形外科疾患を理解し、それらの診断と治療計画を立て実行する。運動支持器官の機能再建による機能回復や疼痛除去による日常生活動作レベルの向上、画像や身体所見を含めた幅広い診断学と、保存的治療・手術治療を含めた広範な治療体系を理解する。

・スポーツ医科学への関わり

レクリエーションレベルからトップアスリートまでスポーツを行う患者診察の基本を習得する。リハビリテーションを通してスポーツ復帰までを看る。時にスポーツ実践や各種大会の救護医師として支援する。

・整形外科の基本的な検査および手技

単純X線、CT、MR-I、骨・軟部シンテグラフィー、超音波検査の読影

関節穿刺、硬膜外注射、仙骨硬膜外注射、トリガーポイントブロック、伝達麻酔(上肢、下肢、アンクルブロック)

関節造影、脊髄造影、神経根造影などの造影検査

筋電図、神経伝導速度などの神経電気生理学的検査の理解

・習得すべき整形外科手術

基本的な骨折や靭帯損傷の手術

足、膝関節鏡検査および鏡視下手術

関節変性疾患の関節形成手術

一般的な人工膝関節、人工股関節

・助手が可能である手術

脊髄、脊椎手術

各関節形成および矯正骨切り術

各専門的分野の手術



コース概要

II. チーム医療のスタッフとして積極的に参加、特に診療計画については立案から実施まで行う。

- ・カンファレンスでのプレゼンテーションを確実に行うことができる。
- ・指導医のもと主治医として患者の診療に当たる。
- ・3年間の研修終了時には一般的な骨折手術の術者として指導医の指導のもとで手術を行う。
- ・スポーツ関連の救護ドクターまたは帯同ドクターの補助を行う。

【週間スケジュール及び主催勉強会等】

月	火	水	木	金
病棟回診、手術、術後回診	外来業務、検査	抄読会、病棟回診、手術、術後回診	術前カンファレンス、病棟総回診、手術、術後回診	外来診療、検査、病棟回診、病棟リハビリカンファレンス

【平成22年度手術、検査等診療実績】

部位別

術名・検査名	件数
下腿～足	193
膝	162
前腕～手	72
肩～肘	35
骨盤～大腿	32
その他	40
計	535

手術別

術名・検査名	件数
骨折観血的整復術	123
靱帯形成術	62
外反母趾・足趾矯正骨切り術	51
人工関節形成術	46
半月板手術	38
腱修復術・腱溝修復術	26
骨軟部腫瘍切除術	23
骨軟骨修復・移植術	14
足関節固定術	12
足関節インピンジメント	10
その他	130
関節鏡視下・関節鏡併用手術	169
計	535

疾患別

術名・検査名	件数
スポーツ関連疾患	159
骨折	151
変性疾患	134
腫瘍	23
感染症・壊死	20
その他	48
計	535

【指導医】

医師名	役職	医師資格取得年	所属学会・資格等	専門領域
杉本 和也	副院長	昭 57	日本整形外科学会認定専門医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄医、日本体育協会公認スポーツドクター、日本リウマチ学会認定専門医、日本リハビリテーション医学会臨床認定医、臨床研修医指導者講習会受講済	スポーツ整形外科、足・膝の外科、関節外科
佐本 憲宏	部長	平 1	日本整形外科学会認定整形外科専門医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本体育協会公認スポーツドクター、日本体育協会公認スポーツ指導員、日本剣道連盟社会体育指導員(中級)、臨床研修医指導者講習会受講済	足の外科、スポーツ整形外科、関節外科
岡橋 孝治郎	医長	平 8	日本整形外科学会認定整形外科専門医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本体育協会公認スポーツドクター	膝の外科、スポーツ整形外科、関節外科
磯本 慎二	医長	平 11	日本整形外科学会認定整形外科専門医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本体育協会公認スポーツドクター	足の外科、スポーツ整形外科、四肢外傷

【取得可能な認定医・専門医】

日本整形外科学会認定整形外科専門医
日本体育協会公認スポーツドクター

【学会認定・施設】

日本整形外科学会認定医制度研修施設